

～台湾における食品の表示制度 及び分析検査について～

食品を海外へ輸出する際、各国によって食品表示制度が異なるため、トランス脂肪酸など日本には義務づけがない表示の場合、栄養分析検査を行う必要があります。沖縄からの食品輸出量が多い台湾においても、食品衛生管理法に基づく表示を行わなければなりません。

今回、食品分析検査を受託するLSIメディエンス（東京）及びSGS（台湾）等から、台湾における食品表示制度の現状と検査方法について、わかりやすくご説明いたします。

プログラム

13:30～14:50

1. 「台湾における食品輸入規制制度・食品分析検査について」

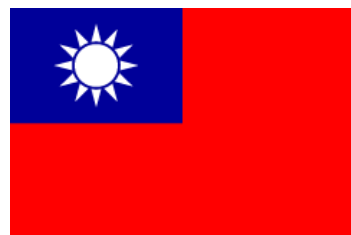
講師：于康妮 氏 SGS 副主任

15:00～15:20

2. 「国内の成分分析法と海外の分析法の違い」

講師：西村 健太郎 氏

LSIメディエンス（旧三菱化学メディエンス）
食の安全サポート部 営業グループ 第1チームリーダー



15:20～15:40

3. 「長期輸送に向けて賞味期限を延ばす技術と検査方法」

講師：伊志嶺 哉 氏

株式会社 クロックワーク代表取締役社長

15:40～16:00 質疑応答

日時：2016年3月25日（金） 13:30 ～ 16:00

会場：那覇第2地方合同庁舎2号館 10階 経済産業部会議室
（那覇市おもろまち2-1-1）

対象：台湾へ食品を輸出している、または輸出を検討している食品製造・販売企業で、商品の開発や表示の業務に携わる方

■お申し込み方法

本チラシの裏面参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込み下さい。

FAX：（098）-860-1077

■お問い合わせ

（一財）南西地域産業活性化センター（沖縄国際ハブクラスター事務局）

〒900-0015 那覇市久茂地3-15-9 アルテビルディング 2階

TEL：(098)-866-4660

担当：喜納

企業概要

SGSグループ

検査、検証、試験および認証業界における世界的トップ企業。

品質や高潔性の面でも国際的な水準として認められ、現在では世界の1,800以上のオフィスや研究所で85,000名を超える職員が活躍している。また、SGS台湾において、日本からの輸入商品の分析検査を年間で約3,000件行っている。

LSIメディエンス（旧三菱科学メディエンス）

日本を代表する総合臨床検査センターとして長年培ったノウハウと最先端テクノロジーを駆使し、世界水準の高精度かつ迅速な検査サービスを提供している。

沖縄県内においては、(株)クロックワークを通じて年間約600件の検体処理を行っている。

参加お申し込みフォーム

ふりがな		会社名 役職	
参加者名			
ふりがな		会社名 役職	
参加者名			
TEL		FAX	
E-mail			

お申し込み方法

申込フォームにご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

（一財）南西地域産業活性化センター行き

FAX : 098-860-1077

※記載頂きました個人情報、当事務局の各セミナーをご紹介する際等に使用させていただきます。
また、当該第三者への提供はいたしません。